

2008 年度

科目名 ドイツ語Ⅱ	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 教育教福 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 伊東 史明
授業テーマ ドイツ語の基本構造の完全習得及びドイツ生活文化とコミュニケーション		
授業の概要と目標 最初にドイツ語のもっとも基礎的な部分（発音、動詞、冠詞類の変化）の復習をし、その後各項目の基礎文法の復習をしながらドイツ生活に関する簡単な物語を読んでいく。その際、ドイツの社会・風俗・生活習慣の話もしていきたいと思う。時には VIDEO を使いながらドイツという国について様々な関心を引き起こしてもらうようにしたい。同時に 1 年間で簡単な買い物などのコミュニケーションもできるようにする予定。 予習は必須。予習してこないものは出席と認めないから心しておくこと。何より大事なことは我々と違う文化を楽しく学ぶことであり、それを知りたいと思う気持ちである。		
評価方法 年 2 回の定期テスト(またはレポート)、授業時の予習と発表状況。特に平常点を重視する。出席は必ず 2/3 以上。		
テキスト プリントによる。	著者	出版社
参考書 必要なものは授業中に指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 【前期】 1～5. 発音・数字・動詞の現在人称変化・冠詞類・助動詞の復習。 ドイツの食文化。 レストランでの会話。 Szene 1～3 6～10. 再帰動詞・前置詞・形容詞の復習。 買い物をする会話。ホテルの予約。ミュンヘンの街。 Szene 4～5 11～12. 分離動詞・非分離動詞の復習 ヨーロッパの列車と時刻表の見方。 Szene 6 13～15 過去形の復習 ミュンヘンの 10 月祭 Szene 7 【後期】 1～2. 接続法・接続詞の復習 3～4. 丁寧なものの頼み方、クリスマスとカーニバルの場景 Szene 8 5～7. 過去分詞の作り方と完了形の復習 8～10. ドイツの歴史的事柄、ルートヴィッヒ II 世とバイエルンのお城について Szene 9 11～13. 受動態・接続法 I 式の復習 13～14. 日本の食文化の紹介の仕方 Szene 10 15. ドイツ及びドイツ語圏の一般的文化風俗		